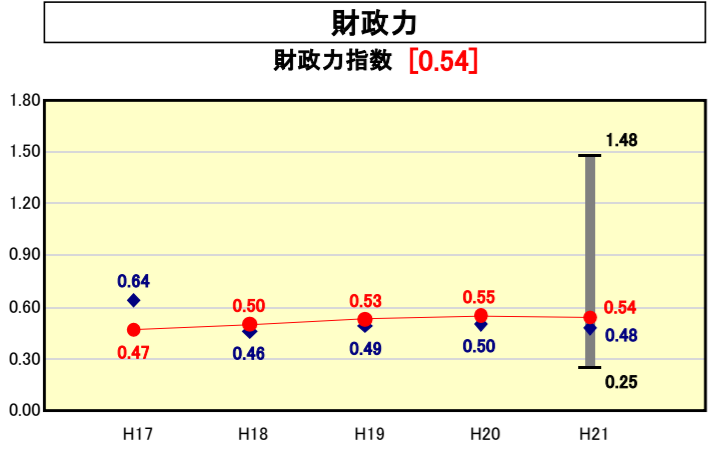


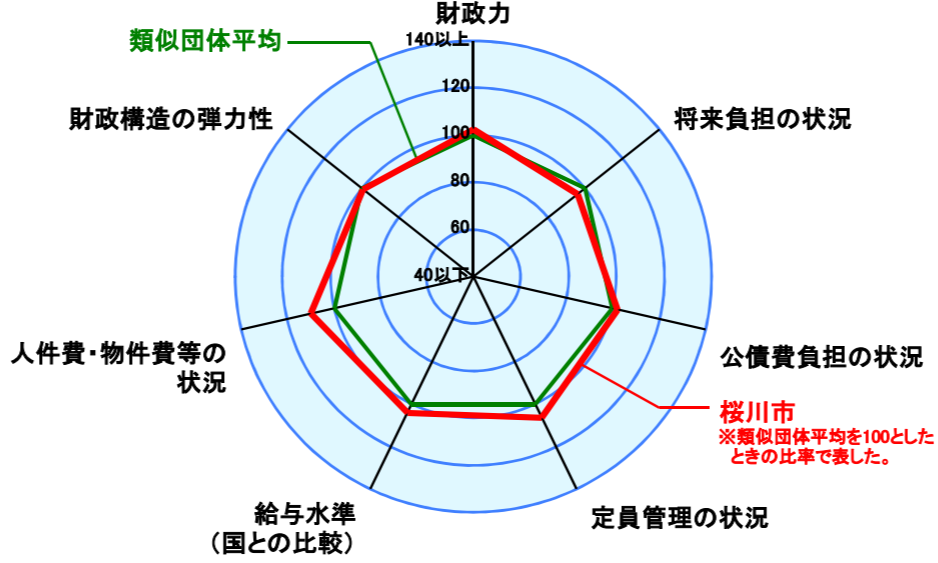
市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)



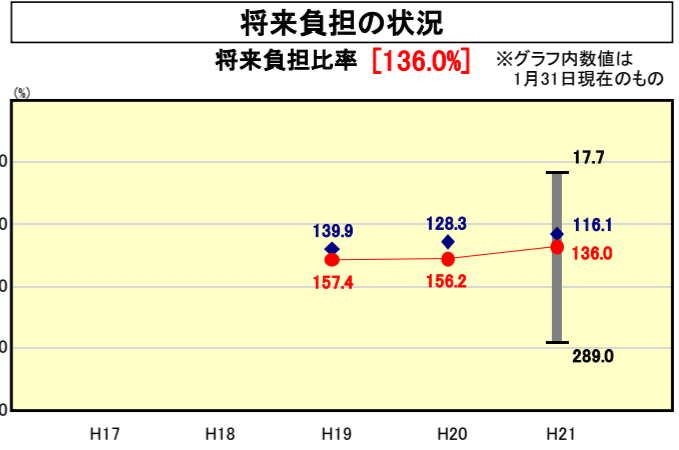
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 23/88
全国市町村平均 0.55
茨城県市町村平均 0.79

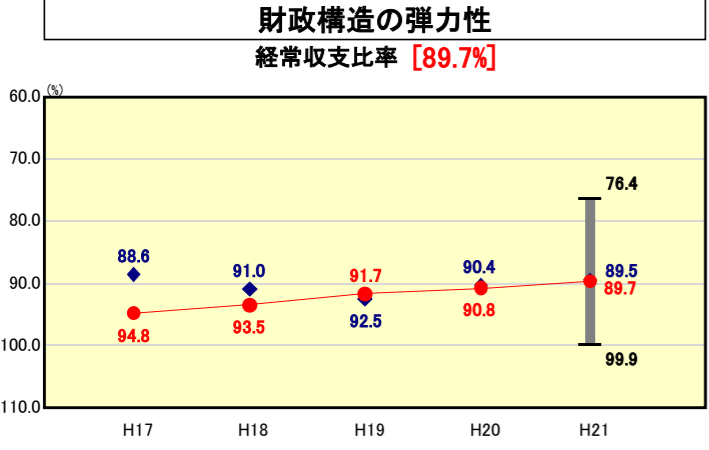
人口	47,625	人(H22.3.31現在)
面積	179.78	km ²
標準財政規模	11,805,313	千円
歳入総額	18,455,302	千円
歳出総額	17,987,749	千円
実質収支	340,068	千円



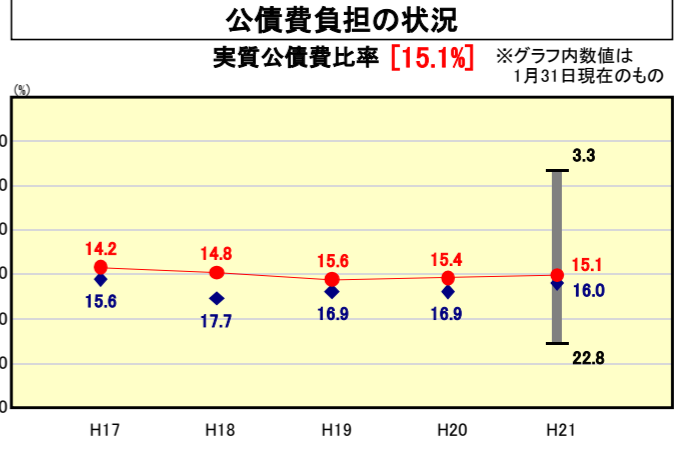
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。



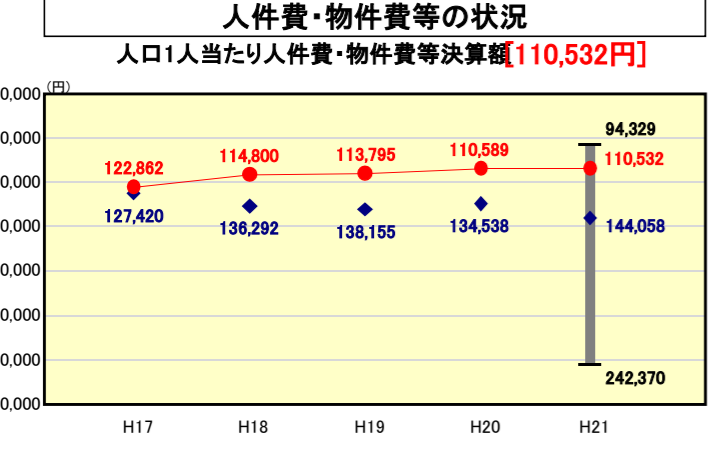
類似団体内順位 61/88
全国市町村平均 92.8
茨城県市町村平均 86.6



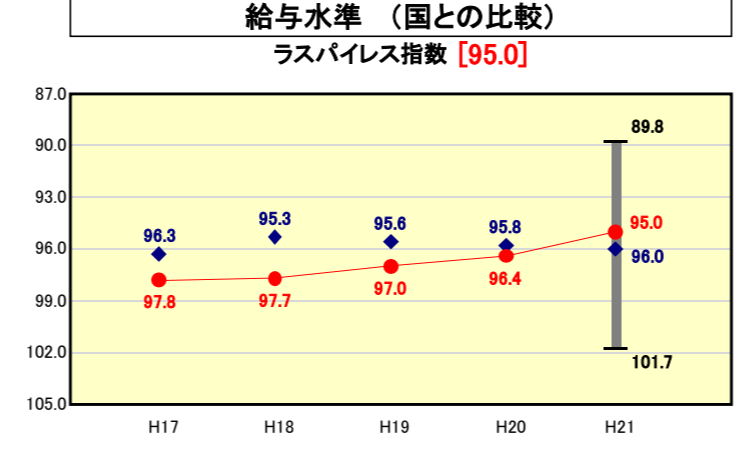
類似団体内順位 47/88
全国市町村平均 91.8
茨城県市町村平均 89.5



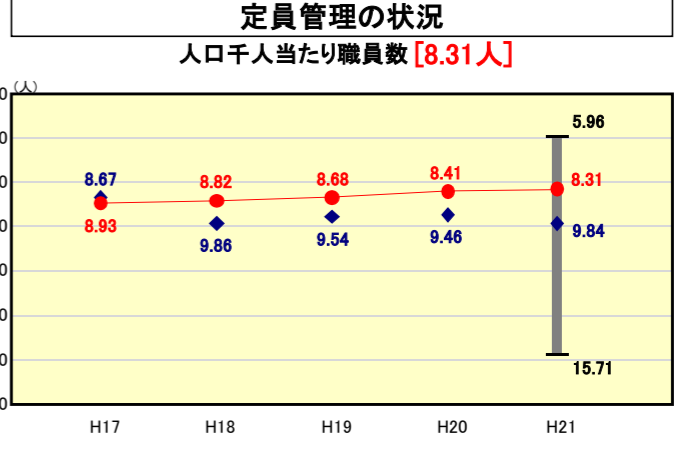
類似団体内順位 40/88
全国市町村平均 11.2
茨城県市町村平均 12.0



類似団体内順位 12/88
全国市町村平均 115,856
茨城県市町村平均 108,115



類似団体内順位 24/88
全国市平均 98.8
全国町村平均 95.1



類似団体内順位 23/88
全国市町村平均 7.33
茨城県市町村平均 7.20

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
経済状況の低迷による地方税の減収等の要因により、昨年度比0.01減の0.54となったが、類似団体の数値(0.48)と比較すると若干ではあるが上回っている。今後も行政評価などにより徹底的な歳入の見直しを実施するとともに、税収の徴収率向上により歳入の確保に努める。

【経常収支比率】
平成21年度は89.7%で昨年度より1.1ポイント改善したが、類似団体平均と比較すると0.2ポイント上回っている。全体的に経常経費は削減されており、収入において経常的一般財源も増加しているが、さらに事務事業評価等により事務事業の点検・見直しを行い経常経費の削減を図るとともに滞納整理の強化により税収の確保を図り、類似団体平均を下回るよう努めていく。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
現在人件費の適正化を目指し、職員数の削減による人件費の削減を行っている。また、物件費については予算枠を設定して限度額を設定することによる削減を実施している。これらの削減により数値は類似団体平均に対し若干低くなっている。

【ラスパイレス指数】
合併以降前年度まで類似団体平均を上回る状況が続いたが、給与体系の見直しの実施により昨年比1.4ポイント改善し、本年度は類似団体平均を1.0ポイント下回っている。今後も給与の適正化を図っていくとともに類似団体平均を下回るよう見直しを実施していく。

【将来負担比率】
将来負担比率については、136.0%と類似団体の平均値を19.9ポイント上回っている。これは、霞ヶ浦用水の受益面積が他市町村に比べ広いために債務負担行為の数値が高いためである。債務負担行為の額も年々減少してきているが、さらに、新規事業の実施等について点検を行い地方債の新規発行額を抑制し財政の健全化に努める。

【実質公債費比率】
実質公債費比率については、昨年度と比較して0.3ポイント低下の15.1%と、類似団体の平均値(16.0)を下回っているが、今後、公共下水道事業の進展に伴い増加は避けられない状況である。そのため、事業計画の見直しを実施し極力新規発行を抑制し、比率の上昇を抑えていく。

【人口千人当たりの職員数】
現在、集中改革プランにより計画的に職員数の削減を行っているため、類似団体の平均を1.53人下回っている。これからも行政サービスの質を低下させないよう工夫しつつ、適正な定員管理に努めていく。